

令和 7 年度東松島市総合防災訓練実施結果報告（概要版）

1 訓練目的 太平洋沖で発生した超巨大地震と地震による最大クラスの津波発生などの大規模災害を想定し、「自分の命を守る最善の行動をとる」をスローガンとし、市民と防災関係機関が一体となって避難行動を実施することにより、防災体制の確立と防災意識のより一層の向上を図る。	（４）協力機関 ア 東松島消防署による津波避難タワーからの要救助者の救助訓練 イ 国土交通省東北地方整備局北上川下流河川事務所、宮城県東部土木事務所による水門の開閉訓練 ウ 陸上自衛隊、航空自衛隊による防災備蓄基地からの物資輸送
2 実施日等 （１）日 時 令和 7 年 6 月 1 5 日（日）午前 9 時から午前 1 1 時まで （２）参加者数 9, 6 3 5 人（前年度比 ＋ 1 0 8 人） （３）主 催 東松島市、東松島市自主防災組織連絡協議会 （４）参加機関 東松島市消防団 他 5 団体 （５）協力機関 国土交通省東北地方整備局北上川下流河川事務所 他 1 3 団体	5 訓練実施結果（抜粋） （１）災害対策本部運営訓練 ア 大津波警報発表に応じ、避難指示発令、防災行政無線及びメール等による避難の広報を実施 イ 各種被災状況に応じ、災対各部が対処訓練を実施 （２）自動車避難訓練 小野地域、野蒜地域、宮戸地域の住民が自動車避難訓練に参加し、鳴瀬桜華小学校、宮野森小学校、野蒜駅南交通広場、宮城県松島自然の家に避難（参加台数 4 8 台） （３）地区別計画の応急対策訓練 各地区の自主防災組織がそれぞれ工夫して災害応急対策訓練を実施（マンホールトイレ、段ボールベッド、初期消火、A E D、担架作成・搬送、浄水器、炊き出し、防災教育等） （４）小中学生へのアンケート調査 小中学生の保護者を対象とした、防災訓練参加状況などのアンケート調査の結果は、次のとおり。（2, 8 5 0 人中、回答数 1, 3 9 0 人（4 8. 8 %）） ・ 家族で防災訓練に参加した割合 2 8 % ・ 災害時の連絡方法・集合場所を決めている家庭の割合 8 6 % ・ 家庭内で避難場所や避難経路について確認している割合 8 7 % ・ 家庭内の備蓄品等の置き場所や中身を教えている割合 5 0 % ・ 家具等の転倒防止を行っている割合 7 4 %
3 被害想定 宮城県沖を震源とするマグニチュード 9. 0 と推定される地震が発生し、東松島市では震度 6 強を観測、その後、東北太平洋沿岸に「大津波警報」が発表された想定	
4 訓練内容 （１）市訓練項目 ①職員参集訓練、②災害対策本部設営訓練、③災害対策本部運営訓練、④災対各部運用訓練⑤避難所開設訓練、⑥防災行政無線運用訓練、⑦宮城県自然災害避難支援アプリ（みやぎ防災アプリ）運用訓練、⑧津波避難タワーとの通信訓練、⑨水門作動状況確認訓練 （２）東松島市消防団 ①災対本部員活動、②避難誘導・広報訓練、③地区別計画訓練の支援等 （３）自主防災組織及び市民 ①地震対処（シェイクアウト）訓練、②避難訓練（徒歩又は自動車）、③災害時初動訓練（避難誘導、広報、安否確認）、④災害応急対策訓練（初期消火訓練、救命救急訓練、マンホールトイレ設置訓練、段ボールベッド設置訓練、防災備蓄品確認、防災資機材操作訓練、炊き出し訓練、防災教育等）、⑤みやぎ防災アプリの機能確認	